

五中だより

自主 協力

創造

令和4年12月7日 発行第一7 号新潟市立新津第五中学校

生徒も教師も達成感を味わい、自己有用感を実感できる学校

【GIP(いじめ防止プロジェクト)集会 11月24日 】

今年度も生徒会本部が中心となり、GIP集会が行われました。いじめ防止のために「いじり」をテーマに実施しました。集会では、生徒会本部の進行で、生徒会長の話、生徒による劇、学年を越えた縦割グループによる話合いを行いました。どのグループも自分の言葉で意見を交換し、「いじり」についての理解を深めました。最後に、地域代表として、阿賀浦コミュニティ協議会会長 早川 徹 様より講評をいただきました。すべての生徒が課題に真摯に向き合っていました。また、生徒会本部の皆さんは、長期に渡り準備をしました。たいへんご苦労様でした。

Q:「自分がいじられる側の時といじる側の時にどのような気持ちになるか?」





(いじられる側)

- ・つらい ・悲しい ・ショック (いじる側)
- ・楽しい ・面白がる ・軽い気持ち【グループの記録から抜粋】

Q:「いじりのメリットとデメリットは何か 話し合ってみましょう。」」





(メリット)

- ・面白い ・場が和む ・楽しい (デメリット)
- ・傷つく ・疲れる ・空気が悪くなる【グループの記録から抜粋】

Q:「いじりで傷つく人がいなくなるために 私たちには何ができるだろうか。」





いじられている側といじっている側の 気持ちは同じと限らず、 いじられている人の中には、 密かに嫌だと思っているが、 周りのことを考え嫌だと 置い出せない人もいるかも知れない。

いじりには、 メリットもデメリットもある。 皆さんは、普段自分の発言で相手が どんな気持ちになるか考え、 その言葉に責任は持てていますか?

【生徒会からの提案スライド】

- ・自分が言われて嫌なことは言わない。
- ・相手の気持ちになって考えてみる。
- ・相手のことをしっかり考えてから発言する。
- 嫌だったらしっかりと伝える。
- ・いじりを注意する。
- ・相手の良いところを積極的に見つける。
- きつい言葉を使わない。
- その場の空気に合わせる。
- ・発言、行動する前に相手の立場や気持ちを考える。

【区長と秋葉区を語る会 11月24日】

GIP集会終了後、生徒会本部の代表生徒と秋葉区長 長崎 忍 様、秋葉区教育支援センター所長 牧野 淡紅恵 様をお招きし、「秋葉区を元気にしたい!楽しい場所にしたい!こんなまちにしてほしい!こんなまちに住みたい!」をテーマに意見交換会を行いました。

代表生徒は、秋葉区の未来や課題を真剣に考えていました。また、魅力ある秋葉区になるために必要なことなどを考え、積極的に提言していました。







【令和5年度の新入生説明会が行いました。12月1日】

来年度の新入生と保護者向けに、説明会を実施しました。田中校長より第五中学校の概要、学習について山田教諭、生活面について横土教諭から説明がありました。

その後、保護者の皆様には新潟県警本部より通信機器に関わるトラブルについて具体的な事例をもとにお話しをしていただきました。

また、6年生は、1学年委員会による学校生活の説明を受けたり、白井教諭による交流活動を体験したりしました。6年生が、笑顔いっぱいの充実した時間を過ごすことを目指しました。在校生生徒、教職員共に、4月の入学を心待ちにしています。







【PTA クリスマスリース作り 】

11月19日(土) PTA文化教養部によるクリスマスツリーづくりが行われました。講師に1級フラワー装飾技能士の 坂上 久美子 先生をお招きし、たくさんの保護者の皆さんがお集まりいただき熱心にツリーの作成を行いました。役員の皆様、事前準備などありがとうございました。





